

報第41号

株式会社じよんのび村協会経営状況報告書

令和6年（2024年）9月5日提出

柏崎市長 櫻井雅浩

令和 6 （ 2 0 2 4 ） 事業年度
事業計画及び予算

第34期営業計画

1 基本方針

(1) 目標

株式会社じょんのび村協会は、経営再建を掲げ令和3年10月に新体制になり、令和5年度において黒字化を達成しました。黒字化はあくまでも通過点に過ぎず、今後の長期的な成長と安定した収益の確保を目指すための重要な令和6年度になります。経営基盤の安定化ができたことにより、攻めと守りを含めた全てにおいてバランスを大切にし、多くの皆様から支持頂ける企業となるように努めてまいります。

(2) 営業戦略

バランスを大切に取り、以下に掲げる営業戦略を実践してまいります。

ア 地域既存客と新規顧客

地域の常連客やリピーターへの感謝を示すために、特別な割引や特典を提供します。地域イベントやコミュニティ活動への積極的な参加を通じて、地域住民とのコミュニケーションを深めます。

一方で、地域外からの観光客や利用者を増やすために、オンライン広告やSNSキャンペーンなどのデジタルマーケティングを強化します。地域の魅力や特色を発信し、新たな顧客層を獲得するためのプロモーションを展開します。地域既存客と新規顧客の両方を大切にし、地域との結びつきを強化しつつ、新たな顧客を開拓してまいります。

イ 国内客とインバウンド客

国内市場での需要を拡大するために、周辺地域の事業者や旅行代理店との連携を強化し、プロモーションイベントやセールスキャンペーンを展開します。国内旅行者向けの特別プランやイベントを企画し、地域の魅力をアピールします。

一方で、海外からの観光客を増やすために、外国人旅行者向けのウェブサイトやSNSでのプロモーションを強化します。外国人旅行者向けのツアー商品やパッケージを開発し、日本の文化や風土を体験できるプランを提供します。

ウ リアルとオンラインプロモーション

地域内外でのイベントや展示会への積極的な参加を通じて、じょんのび村の魅力を広くアピールします。地域の観光スポットやイベント会場での販促活動やPRを行い、直接顧客とのコミュニケーションを図ります。

一方で、ウェブサイトやSNSを活用したデジタルマーケティングを強化し、広範な顧客層に情報を発信します。情報発信力の向上とターゲット層へのリーチを広げることで、新規顧客の獲得を図ります。

エ 収益とサービス

収益向上のために、価格設定の見直しや付加価値の提供など、収益性を向上させる施策を実施します。新たな収益源の開拓や売上促進策を展開し、経営の安定化と成長を図ります。

一方で、顧客満足度向上のために、サービス品質の向上に努めます。従業員の教育・研修を強化し、質の高いサービスを提供します。顧客からのフィードバックを活用し、サービスの改善や新たなサービスの開発に取り組みます。

オ 投資（新規）と改修（既存）

新たな施設や設備の導入により、サービスの向上と効率化を図ります。例えば、休憩室リニューアルや設備の更新を行い、顧客満足度の向上と収益の最大化を目

指します。

一方で、老朽化した施設や設備の改修を定期的に行い、安全性や快適性の向上を図ります。投資と改修のバランスを取りながら、施設や設備をより魅力的で快適な空間に整備し、顧客に満足していただけるサービスを提供してまいります。

(3) 事業理念

顧客のために～。

—お客様の役に立つことを考えよう—

地域のために～。

—交流・連携して、活性化へ—

未来のために～。

—持続可能な事業に取り組もう—

2 収支予算

(単位：千円)

	年間計	上期計	下期計
売上合計	240,000	130,000	110,000
入館料収入	33,100	17,300	15,800
宿泊収入	57,400	36,800	20,600
飲食収入	66,500	34,600	31,900
売店収入	38,300	18,600	19,700
ボディケア収入	3,600	1,800	1,800
その他売上収入	3,600	1,800	1,800
製造収入	3,150	1,650	1,500
マルシェ・カフェ収入	7,400	5,200	2,200
銀兵衛収入	19,000	9,600	9,400
イベント収入	7,950	2,650	5,300
売上原価	64,800	35,100	29,700
販売管理費	182,593	93,513	89,080
営業損益	▲ 7,393	1,387	▲ 8,780
経常損益	2,007	9,087	▲ 7,080

3 取組計画

以下の取組を予定しております。

(1) 宿泊事業の更なる強化

ア 宿泊プランの新規造成

銀兵衛での夕食付き宿泊プラン、アニバーサリープランを新たに造成・販売予定です。

イ ハード面の強化事項

客室へのマットレス、簡易ベッドの導入を行い、より快適な宿泊環境を整えます。チェックイン時のウェルカムドリンクの提供を検討します。

ウ ソフト面の強化事項

外部講師によるスタッフ研修を行い、接客スキル、清掃の強化を行います。

(2) 地域周辺観光に向けた連携

- ア 柏崎市内の事業者との関係強化
海側エリア、米山地区、夢の森公園等の事業者と事業連携し、地域の観光促進に寄与してまいります。
- イ 柏崎市内の周遊バスツアー
新たに柏崎市内を周遊するバスツアーを旅行会社等へ提案し、バスツアーを造成します。
- ウ 地域と連携したイベントの継続実施
アンディプレゼンツ自転車イベントや、新潟産業大学と連携する夏祭り等を継続して実施します。
- (3) インバウンド事業の継続
 - ア 外国人個人旅行の集客
旅行会社との連携や、オンライン自動翻訳機能を活用し、個人旅行集客を目指します。
 - イ インターンシップ生の受入れ継続
タイのC Pグループとの連携協定のもと、タイ人のインターン生を継続して受け入れ、インバウンド対策を行います。
 - ウ 観光庁「地域観光“新発見”事業」
公募申請を行い、地域観光P Rの強化を目指します。
- (4) 顧客満足度向上に向けて
 - ア 老朽化対策
温泉：ボイラーの故障、エアコン水漏れ等が多発し、営業ができないこともあったため、柏崎市に対して修理や設備入替を強く希望しています。
ファームハウス：換気扇の故障、グリルの故障、備品の故障が目立つため、備品類の買換えを進めています。
 - イ 休憩室の改装
目的別の休憩室改装がまだ実現できていないことから、今年度中に改装を進めます。
 - ウ 雁木^{がんぎ}カフェ
喫茶エリアで黒姫山を眺めながら芝生エリアも活用し、雪国ならではの雁木造に焦点を当てたスペースに改装し、新たな需要を生み出します。
 - エ 製造部門の後継者
豆腐・がんもどき・どぶろくについて、製造日を増やし、特産品として更にP Rしていけるよう、後継者の育成を進めます。

令和 5 （ 2 0 2 3 ） 事業年度
決算に関する書類

第 3 3 期営業報告

1 会社の業績

(1) 業績経過及び実績

令和 5 年度において、新型コロナウイルス感染症の感染状況の改善とともに、社会経済の回復が着実に進みました。当社はこの好機を捉え、以下の施策を展開し、業績を躍進させました。

ア 新規顧客の獲得

市場調査と競合分析を通じて、若年層や首都圏等の新たな顧客層を特定しました。ターゲティング広告やパートナーシップを活用して、新規顧客の獲得を積極的に図りました。

イ 既存顧客のリテンション(満足度向上)

顧客満足度向上のための取組やリピート購買促進策を展開し、既存顧客のロイヤリティを高めることに注力しました。顧客とのコミュニケーションを密にし、顧客のニーズに合ったサービスを提供することで、顧客の満足度向上を目指しました。

ウ コスト削減と業務効率化

業務プロセスの見直しや効率化を推進し、コスト削減の施策を徹底しました。これにより、業務の効率化とコストの最適化を実現し、収益性を向上させる基盤を再整備しました。

これらの施策の成果を受け、当社の業績は躍進しました。具体的な数値としては、総収入は 2 億 3, 5 3 3 万円（前年度比 1 2 1 %）となりました。なお、当初予算比においても 1 0 2 % と予算も達成し、経費削減と効率化の成果により、経常利益は 4 1 3 万円の黒字（前年度▲ 5 3 8 万円）を達成しました。

引き続き、市場環境の変化に敏感に対応し、お客様の期待に応えるための戦略的な取組を展開してまいります。株主の皆様には、この躍進した業績を支えていただき、心より感謝申し上げます。引き続き、御支援と御指導を賜りますようお願い申し上げます。

業績の詳細等は、次表以下に記載いたします。

(2) 第33期実績
ア 収支実績

(単位：千円)

	年間計	上期計	下期計
売上合計	218,862	115,357	103,504
入館料収入	29,452	15,174	14,278
宿泊収入	52,078	32,700	19,379
飲食収入	64,300	32,509	31,792
売店収入	35,375	16,895	18,481
ボディケア収入	3,206	1,634	1,572
その他収入	3,144	1,649	1,495
製造収入	2,698	1,319	1,379
マルシェ・カフェ収入	6,501	4,431	2,071
銀兵衛収入	16,622	8,264	8,359
イベント収入	5,480	783	4,698
売上原価	58,979	30,278	28,701
販売管理費	170,599	86,706	83,894
営業損益	▲ 10,717	▲ 1,626	▲ 9,090
経常損益	4,130	6,485	▲ 2,355

(注意) 端数処理の関係で、数値が合わない場合があります。

イ 利用者数（宿泊）

	萬歳楽（全13室）					ファームハウス（全7棟）				
	営業 日数	利用可能 室数	利用室数	稼働率	人数	営業 日数	利用可能 棟数	利用棟数	稼働率	人数
4月	26	338	130	38.46%	317	26	182	20	10.99%	123
5月	24	312	169	54.17%	469	24	168	49	29.17%	294
6月	26	338	122	36.09%	311	26	182	18	9.89%	74
7月	28	364	165	45.33%	472	28	196	68	34.69%	379
8月	28	364	249	68.41%	769	28	196	128	65.31%	837
9月	26	338	172	50.89%	416	26	182	27	14.84%	188
10月	27	351	192	54.70%	493	27	189	25	13.23%	179
11月	25	325	141	43.38%	383	25	175	18	10.29%	138
12月	27	351	86	24.50%	244	27	189	45	23.81%	199
1月	20	260	81	31.15%	164	7	49	12	24.49%	70
2月	21	273	110	40.29%	271	1	7	5	71.43%	29
3月	25	325	143	44.00%	366	16	112	12	10.71%	78
計	303	3,939	1,760	44.68%	4,675	261	1,827	427	23.37%	2,588

ウ 利用者数（施設）

（単位：人）

	施設利用計			入浴（楽寿の湯）			広間（やまどり）		
	今期	前期	前年度比	今期	前期	前年度比	今期	前期	前年度比
4月	7,127	5,372	132.67%	3,653	2,971	122.96%	1,459	1,045	139.62%
5月	11,170	8,846	126.27%	5,076	4,455	113.94%	1,962	1,985	98.84%
6月	7,956	5,575	142.71%	3,637	2,719	133.76%	1,437	1,129	127.28%
7月	9,374	7,105	131.94%	4,189	3,743	111.92%	1,833	1,468	124.86%
8月	11,365	8,393	135.41%	5,252	4,388	119.69%	2,198	1,820	120.77%
9月	8,545	6,871	124.36%	3,693	3,610	102.30%	1,776	1,306	135.99%
10月	9,787	7,848	124.71%	4,087	3,875	105.47%	1,764	1,561	113.00%
11月	9,462	6,854	138.05%	3,885	3,057	127.09%	1,811	1,418	127.72%
12月	7,794	5,424	143.69%	3,397	2,702	125.72%	1,323	1,082	122.27%
1月	6,752	5,877	114.89%	3,523	3,348	105.23%	1,315	1,253	104.95%
2月	8,949	5,400	165.72%	4,579	3,023	151.47%	1,552	1,175	132.09%
3月	8,355	6,126	136.39%	4,056	3,192	127.07%	1,475	1,303	113.20%
計	106,636	79,691	133.81%	49,027	41,083	119.34%	19,905	16,545	120.31%

	宴会			銀兵衛			じょんのび横丁		
	今期	前期	前年度比	今期	前期	前年度比	今期	前期	前年度比
4月	97	30	323.33%	199	-	-	1,719	1,326	129.64%
5月	31	36	86.11%	1,297	-	-	2,804	2,370	118.31%
6月	268	153	175.16%	773	-	-	1,841	1,574	116.96%
7月	179	77	232.47%	893	-	-	2,280	1,817	125.48%
8月	247	44	561.36%	1,110	-	-	2,558	2,141	119.48%
9月	138	62	222.58%	784	-	-	2,154	1,893	113.79%
10月	212	152	139.47%	1,032	-	-	2,692	2,260	119.12%
11月	353	336	105.06%	956	-	-	2,457	2,043	120.26%
12月	453	223	203.14%	691	-	-	1,930	1,417	136.20%
1月	124	58	213.79%	486	-	-	1,304	1,218	107.06%
2月	64	9	711.11%	742	-	-	2,012	1,193	168.65%
3月	221	209	105.74%	727	-	-	1,876	1,422	131.93%
計	2,387	1,389	171.85%	9,690	-	-	25,627	20,674	123.96%

エ 参考（業績の推移）

（単位：千円）

区分	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
売上高	225,059	236,357	222,623	209,301	193,330	179,292	72,507	110,079	167,837	218,862
売上原価	86,330	86,747	84,698	82,113	75,291	70,235	22,871	33,591	45,128	58,979
売上総利益	138,730	149,609	137,926	127,188	118,039	109,057	49,637	76,488	122,709	159,883
販売管理費	150,402	152,245	151,197	145,794	136,126	136,888	78,011	116,199	153,619	170,599
営業損益	▲11,673	▲2,636	▲13,272	▲18,606	▲18,087	▲27,831	▲28,374	▲39,712	▲30,910	▲10,717
営業外損益	3,807	3,076	2,421	2,324	2,725	3,180	22,318	14,302	25,534	14,846
経常損益	▲7,866	440	▲10,850	▲16,282	▲15,361	▲24,651	▲6,056	▲25,409	▲5,376	4,130
当期損益	▲8,156	150	▲9,597	▲16,572	▲15,654	▲24,941	▲6,346	▲25,699	▲5,666	3,840

（注意）端数処理の関係で、数値が合わない場合があります。

2 会社の概況

(1) 株式の状況

- ア 会社が発行する株式の総数 2, 8 6 6 株
 イ 発行済株式の総数 1, 2 2 1 株
 ウ 当期末株主数 2 4 1 人
 エ 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
柏崎市	666	54.55%
株式会社小林組	32	2.62%
株式会社村田組	23	1.88%
株式会社植木組	20	1.63%
えちご中越農業協同組合	17	1.39%
米山建設株式会社	17	1.39%
大高建設株式会社	17	1.39%
有限会社永井工務店	17	1.39%
石塚酒造株式会社	16	1.31%

(2) 従業員の状況

業務	従業員数
フロント・施設管理	社員：3人 パート：18人
調理・フロア	社員：5人 パート：9人
売店・製造	社員：1人 パート：4人
人事労務・庶務	社員：2人
計	社員：11人 パート：31人

(3) 取締役及び監査役

会社における地位	氏 名	担当又は主な職業
代表取締役	吉 村 英 治	株式会社じょんのび村協会常勤取締役
取締役	根 来 勇 人	株式会社ワールドコンパス代表取締役
取締役	政 金 克 芳	社会福祉法人柏崎刈羽福祉事業協会理事長
監査役	大 倉 正 大	高柳地区連合会会長

(4) 代表取締役に支払った報酬

区分	支給人数	支給額	摘要
	取締役	7,999,992 円	代表取締役報酬
	計	7,999,992 円	

(5) 株主総会・取締役会

期 日	議 件 等
株主総会 令和5年6月21日	1 第32期営業報告の件 2 第32期貸借対照表、損益計算書・株主資本等変動計算書承認の件 3 任期満了に伴う取締役選任の件 4 定款一部変更の件 5 第33期営業計画の件

期日	議 件 等
取締役会 令和5年6月2日	1 第32回定時株主総会議案の承認 2 就業規則変更の承認 3 営業・業務報告
取締役会 令和5年6月21日	1 代表取締役の決議の承認 2 取締役報酬の配分の承認 3 監査役報酬の配分の承認 4 株主名義変更の承認
取締役会 令和5年7月26日	1 就業規則変更の承認 2 株主名義変更の承認 3 営業・業務報告
取締役会 令和5年9月9日	1 令和6年度以降の指定管理業務に関する内容の協議 2 令和5年度代表取締役成果報酬に関する承認 3 入湯料の夜間割引廃止に関する承認 4 営業・業務報告
取締役会 令和5年9月23日	1 令和6年度以降の指定管理業務に関する内容の採択と承認 2 最低賃金引き上げの承認 3 営業・業務報告
取締役会 令和5年11月29日	1 株主名義変更の承認 2 営業・業務報告
取締役会 令和6年2月23日	1 入湯料の値上げの承認 2 営業・業務報告
取締役会 令和6年3月30日	1 令和6年度役員報酬に関する承認 2 銀兵衛の委託業務の承認 3 営業・業務報告

(6) 営業施策

主要部門別に以下の施策を実施しました。

ア 日帰り温泉（入館料）

（ア）休館日を週2日から1日に変更

火・水曜日休館日を令和5年度より水曜日のみ休館日とし、お客様にとって利用し易い営業環境にしました。

（イ）夜間割引の廃止

令和5年10月より、これまで午後6時以降の入浴者に関しては割引を実施しておりましたが、需要喚起の相乗効果は少ないと判断し、廃止しました。夜間の売上増加につながりました。

（ウ）回数券の販売促進

物価高騰などを受け、値上げなどの影響による客離れを抑止するため、回数券を積極的に販売しました。また、市内のイベントにおいてもキャンペーン価格を設定し、販売促進に努めました。

イ 宿泊

（ア）大型団体の受入れ

旅行会社と連携し、長岡花火の2日間で宿泊付バスツアープランを販売しました。また、大学ゼミ、雪国ボランティア等の団体の受入れも行いました。

(イ) トラベルバイトやワーケーション事業

トラベル＋アルバイトという新しい形の宿泊プランを企画・実施しました。
また、ワーケーションプランも継続して販売促進に努めました。

(ウ) インバウンド団体客

旅行会社と連携し、インバウンド客の取り込みを強化しました。外国人向けの冬を楽しむコンテンツを開発・販売し、約50名のインバウンド客を受け入れました。

(エ) 各種宿泊プランの設定

こども旅行応援キャンペーンの継続とオールインクルーシブプラン等の新規販売を行いました。

ウ 飲食

(ア) 新メニュー開発

新たな仕入先を開拓するなどし、日帰り客向けの食事バリエーションを増やしました。(山菜フェア、夏の新メニュー対決、NGT48らーめん部「御麵印プロジェクト」等)

(イ) グレードアップ会席料理の販売

宿泊者用の会席の内容を更に充実させたグレードアップ会席プランの受付を開始しました。

(ウ) 日帰りバスツアー受入れ強化

バスツアー用の食事プランを設定し、受け入れやすい環境を構築しました。
利用者: 408名 前年度対比: 551.5%

(エ) 宴会受入れ強化

地元客による宴会件数・売上げが増加しました。
宴会売上げ前年度対比: 153%

エ 売店

(ア) 山菜フェアの実施

テレビ出演の効果もあり、山菜を求めている来館が増加しました。地域の方々からの仕入れを増やし、自社でも山菜を収穫して販売しました。「着る山菜」シリーズの雑貨も大変好評いただきました。

(イ) 自社製おからの商品開発・販売

自社製のおからを使用したおからソーセージの販売を始めました。
今後も「おからはたから。」として新商品開発を予定しています。

(ウ) 農作物の販売

自社農園「じょんのび^{でん}田」で採れた米や、山中みどりの里でスタッフが栽培したメロンを販売しました。地域の農家からの野菜等の仕入れも強化しました。

(エ) いちじくフェアの開催

オリジナルパッケージの作成、黒いちじくジャムの加工品、ドライ黒いちじくの販売等で、柏崎産黒いちじくの販促を行いました。

オ 囲炉裏ダイニング銀兵衛

(ア) グランドオープン

4月15日、16日プレオープン、4月29日グランドオープン

(イ) 新メニュー 販売開始

ハンバーグのみで営業を始めましたが、6月からメニューにステーキを加えました。

(ウ) コンサートの実施

ひなたをゲストに、ディナーショーを3月及び6月の計2回開催しました。

(エ) 宴会（パーティプラン）の受入れ

女子会や忘年会など、グループでの予約が増加しました。

(オ) 日帰りバスツアーの受入れ

日帰りバスツアーにてハンバーグを提供し、満席となりました。

カ イベント(企画・販促)等一覧

4月	・ 囲炉裏ダイニング銀兵衛オープン ・ 黒いちじく農家との連携協定締結 ・ 山中みどりの里メロン研究会に参画	10月	・ オクトーバーフェス開催 ・ 狐の夜祭り参画 ・ 黒いちじくフェア開催
5月	・ じょんのびWeek 2023開催 ・ 山菜フェア（グルメフェア）開催 ・ 山菜ガイドツアー実施 ・ 馬と一緒に田植え体験実施	11月	・ 秋まつりハンドメイドフェス開催 ・ NGT48らーめん部プロジェクト参画
6月	・ 夏の新メニュー対決（グルメフェア）開催 ・ 高柳産小麦フェア開催 ・ 柏崎市地産地消フェア参画 ・ ホタル鑑賞ガイドツアー実施	12月	・ じょんのび村のクリスマス2023実施 ・ アートワークショップお披露目会実施 ・ 年末年始オードブル販売
7月	・ サイクリングイベント開催 ・ ひなたの囲炉裏deコンサート（銀兵衛）実施 ・ 自転車ガイドライドツアー実施 ・ レンタサイクル実施	1月	・ じょんのび村のお正月開催 ・ インバウンド向け雪国体験実施
8月	・ 和っしょい！じょんのび夏祭り開催 ・ 山中みどりの里メロンフェア開催	2月	・ 雪国ボランティア受入れ ・ かまくら体験プラン実施 ・ 高柳雪まつり参画 ・ 恵方巻販売
9月	・ 米バーガー甲子園参画（最優秀賞受賞） ・ 稲刈り体験実施	3月	・ ひなたの囲炉裏deコンサート（銀兵衛）実施

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		
【流動資産】		
現金・預金合計	33,784,868	
売掛金	5,210,405	
商品	3,017,370	
貯蔵品	1,258,651	
未収入金	1,534,321	
仮払金	0	
流動資産合計		44,805,615
【固定資産】		
【有形固定資産】		
建物附属設備	197,239	
構築物	1	
機械装置	253,271	
車両運搬具	3	
工具器具備品	3,265,518	
一括償却資産	295,095	
有形固定資産合計	4,011,127	
【無形固定資産】		
電話加入権	291,200	
ソフトウェア	990,000	
無形固定資産合計	1,281,200	
【投資その他の資産】		
出資金	30,000	
保証金	500,000	
投資等合計	530,000	
固定資産合計		5,822,327
資産の部合計		50,627,942
負債の部		
【流動負債】		
買掛金	3,486,035	
未払費用	12,170,760	
預り金	1,701,413	
仮受金	2,600	
納税引当金	290,000	
未払消費税	6,103,000	
流動負債合計		23,753,808
【固定負債】		
長期借入金	40,000,000	
固定負債合計		40,000,000
負債の部合計		63,753,808
純資産の部		
【株主資本】		
資本金	61,050,000	
資本剰余金		
資本準備金	56,700,000	
資本剰余金合計	56,700,000	
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	7,000,000	
繰越利益剰余金	▲ 137,875,866	
その他利益剰余金合計	▲ 130,875,866	
利益剰余金合計	▲ 130,875,866	
株主資本合計		▲ 13,125,866
純資産の部合計		▲ 13,125,866
負債及び純資産合計		50,627,942

損益計算書

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日

(単位：円)

経常損益の部

【営業損益の部】		
【営業収益】		
売上高		218,861,523
【営業費用】		
【売上原価】		
期首商品棚卸高	2,647,867	
当期商品仕入高	59,348,412	
合計	61,996,279	
期末商品棚卸高	▲ 3,017,370	
売上原価		58,978,909
売上総利益		159,882,614
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		170,599,184
営業利益（損失）		▲ 10,716,570
【営業外損益の部】		
【営業外収益】		
受取利息	279	
受取配当金	450	
雑収入	16,464,438	
営業外収益合計		16,465,167
【営業外費用】		
支払利息	584,211	
雑損失	1,034,756	
営業外費用合計		1,618,967
経常利益（損失）		4,129,630
税引前当期純利益（損失）		4,129,630
法人税等充当金		290,000
当期純利益（損失）		3,839,630

販売管理費及び一般管理費内訳書

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 3 1 日

(単位：円)

役員報酬	7,999,992
給料手当	37,444,026
賞与	0
雑給	29,141,111
法定福利費	9,333,353
厚生費	1,069,928
荷造発送費	735,063
広告宣伝費	1,730,318
交際費	1,361,814
会議費	42,438
旅費交通費	2,312,865
通信費	515,563
消耗品費	7,117,385
リネン費	3,836,250
電気料	17,307,773
水道料	2,574,069
燃料料	14,582,596
ガス料	3,534,010
車両費	1,811,003
事務用消耗品費	588,301
諸会費	469,000
支払手数料	6,246,838
新聞図書費	68,619
保守管理費	3,835,983
支払保険料	311,250
支払報酬	475,000
研修費	37,852
修繕費	1,359,887
減価償却費	2,528,170
地代家賃	29,000
賃借料	2,325,569
租税公課	305,127
雑費	1,354,325
委託料（ボディケア委託料含む。）	8,214,706
販売管理費及び一般管理費合計	170,599,184

株主資本等変動計算書

自 令和 5 年 4 月 1 日
至 令和 6 年 3 月 3 1 日

(単位：円)

	株 主 資 本							純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
				別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	61,050,000	56,700,000	56,700,000	7,000,000	▲ 141,715,496	▲ 134,715,496	▲ 16,965,496	▲ 16,965,496
当期変動額								
当期純損益					3,839,630	3,839,630	3,839,630	3,839,630
当期変動額 合計					3,839,630	3,839,630	3,839,630	3,839,630
当期末残高	61,050,000	56,700,000	56,700,000	7,000,000	▲ 137,875,866	▲ 130,875,866	▲ 13,125,866	▲ 13,125,866

個別注記表

自 令和 5 年 4 月 1 日
至 令和 6 年 3 月 3 1 日

I この計算書は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

II 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

2 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

法人税法の規定に基づく定率法

3 その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

4 その他の注記

有形固定資産の減価償却累計額 42,970,340 円

III 株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行済み株式の数 1,221 株